



## 県内経済 〈3月〉

### 概況

県内経済は、厳しい状況が続いているが、緩やかに持ち直している

電子部品の生産は前年を上回って推移しているものの、機械金属は弱い動きとなっているほか、木材も前年割れが続いている。建設は、公共工事が堅調に推移しているほか、住宅着工も前年を上回った。個人消費は弱いながらも持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、次世代通信規格5G関連製品の需要が堅調であるほか、車載向けも好調を維持し、5か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、輸送機械で半導体不足から減産が続き、3か月連続で前年を下回った。木材の生産量は、製材品、普通合板（2月）ともに前年を下回ったものの、マイナス幅は前月より縮小した。公共工事請負額は、2か月ぶりに前年を上回り、2020年度計でも前年度を上回った。地元大手（12社）の建設受注額は、官公庁工事、民間工事ともに大口受注があり、2か月連続で前年を上

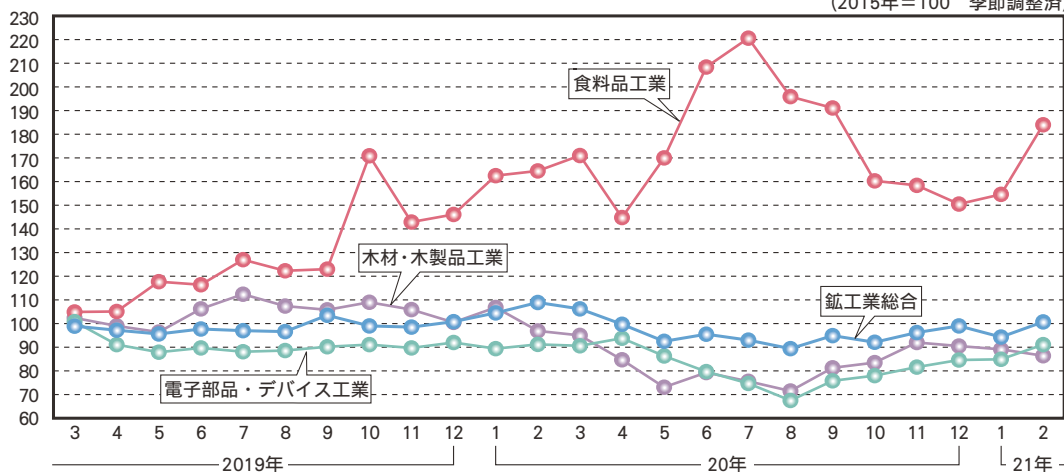
回った。住宅着工は、2か月連続で前年を上回った。個人消費は、小売店販売額（2月）は5か月ぶりに前年を下回ったものの、新車乗用車販売台数が2か月ぶりに前年を上回るなど、全体として弱いながらも持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率は前月比0.02ポイント上昇の1.33倍となった。新規求人数は前年比10.8%増となり、2か月連続で前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比9.5%増となり、12か月連続で前年を上回った。

企業倒産件数は2件、負債総額は6,300万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

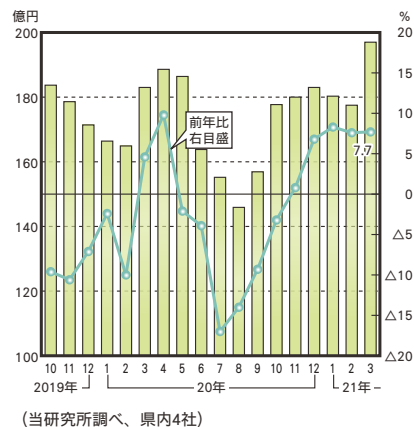
## 電子部品 生産額、増勢強める

3月の生産額は前年比7.7%増となり、5か月連続で前年実績を上回り、金額的にも2018年11月以来の高水準となった。スマートフォンをはじめとする5G関連の製品が増勢を強めていることに加え、車載向けも世界的な半導体不足により、需要が高まっている。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは増加傾向にあり、半導体素子は持ち直しの兆しがみられる。産業向け液晶パネルは減少に歯止めがかかっていない。

なお、1～3月期は前年同期比7.9%増、2020年度通期では前期比0.9%減となった。

電子部品の生産額推移



## 機械金属 生産額、3か月連続で前年比減少

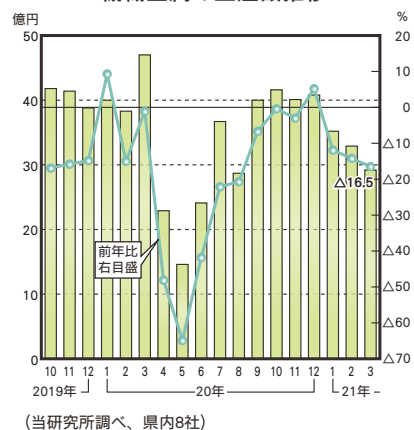
3月の生産額は前年比16.5%減となり、3か月連続で前年比減少となった。

ウエイトの高い輸送機械は、半導体不足から生産ラインを止めるなど減産を続けているメーカーがあることから、減少傾向にある。その他民需関連では、製鋼品に下げ止まり感がみられるものの、金型、建機部品は大幅減となっている。

公共工事関連では、堅調に推移していた水道部品はやや足踏み状態にあり、橋梁・鉄骨は大幅減が続いている。

なお、1～3月期は前年同期比14.3%減、2020年度通期では前期比20.7%減となった。

機械金属の生産額推移



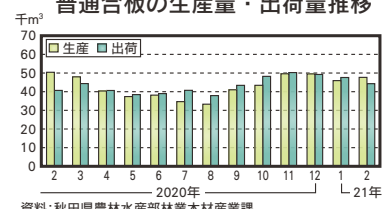
## 木材業 普通合板の出荷量が2か月ぶりに前年比増加

全国的に、新設住宅着工戸数の低迷は続いているものの、春需要期を前に、外材の入荷減少と価格高騰による駆け込み需要なども加わり、普通合板、製材品の生産、出荷は増加傾向にある。県内でも、弱いながら持ち直しの動きが窺える。

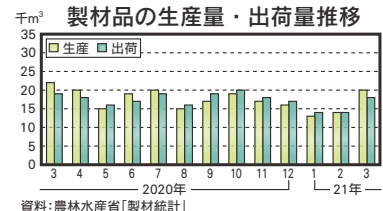
2月の普通合板は、生産量が前年比5.4%減と12か月連続で減少したが、出荷量は同8.9%増と2か月ぶりに前年比プラスに転じた。

3月の製材品は、生産量が前年比9.1%減と12か月連続で前年を下回り、出荷量も同5.3%減と14か月連続の減少となったが、いずれもマイナス幅は前月より縮小した。

普通合板の生産量・出荷量推移



製材品の生産量・出荷量推移

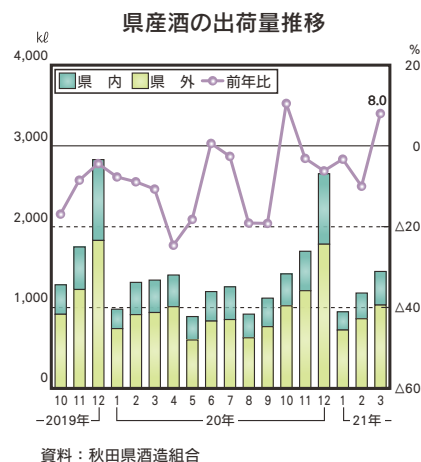


## 酒造業

### 出荷量、5か月ぶりに前年比増加

3月の清酒出荷量は、前年比8.0%増となった。首都圏を除き緊急事態宣言が解除され業務用市場が上向いたほか、前年同期に大幅に落ち込んだ反動もあり、5か月ぶりに前年を上回った。出荷先別では、県内向けは同3.8%増、県外向けも同9.7%増と、ともに増加した。県外の主な出荷先別では、北海道が同9.1%増、東北5県は同5.8%増、東京も同3.1%増と、いずれも前年を上回った。

種類別では、普通酒が前年比5.4%増、特定名称酒は同11.4%増となった。特定名称酒の内訳では、吟醸酒が同17.8%増、純米酒は同4.5%増、本醸造酒も同6.8%増となった。



## 建設業

### 公共工事 国と県が増加し、2か月ぶりに前年比増加

3月の公共工事請負金額は、国と県が増加し、前年比39.2%増と2か月ぶりに前年を上回った。2020年度計でも、前年度比9.8%増と4年連続で増加した。

一方、当研究所調査による地元大手12社の3月の新規受注額は、前年比14.1%増の5,969百万円と2か月連続で前年を上回った。官公庁工事が、河川改修や道路改良等の大口受注が寄与し同3.7%増と前年実績を上回ったほか、民間工事も、物流業の倉庫新築等の大口受注があり同197.5%増と大きく伸びた。しかし、2020年度計の受注実績は、前年度比21.6%減と5年ぶりに前年度を下回った。

公共工事前払金保証実績

(単位: 件、百万円、%)

区分	3月	前年比	2020年度計	前年度比
件数	305	2.0	2,714	△0.7
請負金額	26,524	39.2	187,887	9.8

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位: 百万円、%)

区分	3月	前年比	2020年度計	前年度比
官公庁	5,139	3.7	20,091	△13.2
民間	830	197.5	5,285	△42.6
合計	5,969	14.1	25,376	△21.6

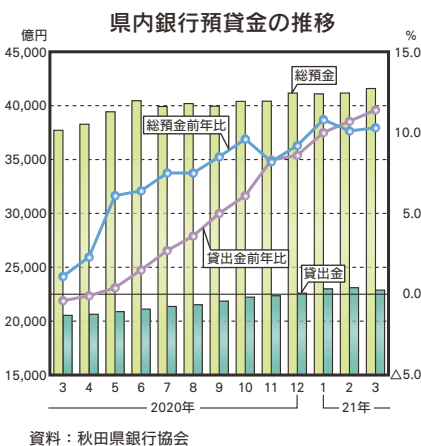
(当研究所調べ、県内12社)

## 金融

### 預金、貸出金とも前年比増加率が拡大

3月末の県内銀行の預金は、前月末比420億円増加し、前年比でも10.3%の増加となった。貸出金は、前月末比218億円減少したが、前年比では11.4%の増加となった。資金需要が高まっているほか、一部企業で手元資金を厚くする動きがみられ、預金、貸出金とも前月に比べ伸び率は拡大した。

3月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は2件(前年比2件減)、負債総額は6,300万円(同67.2%減)となった。倒産件数は、2012年11月以降101か月連続で一桁台または0件で推移し、低水準が続いている。負債総額も、負債額1億円超の倒産があった前年同月との対比で大幅に減少した。



## 住宅着工

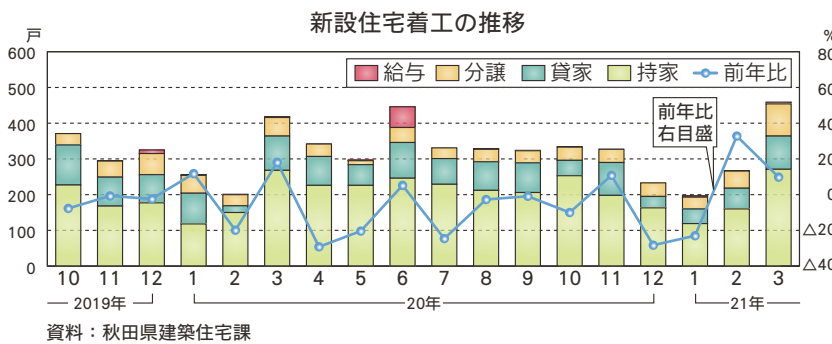
### 着工戸数、2か月連続で前年比増加

3月の県内新設住宅着工戸数は、459戸（前年比41戸増、9.8%増）であった。貸家は減少したものの、持家と給与住宅が増加したほか、分譲住宅も大幅に増加し、2か月連続で前年を上回った。

利用関係別では、持家が271戸（前年比3戸増）、貸家が93戸（同3戸減）、分譲住宅90戸（同38戸増）、給与住宅5戸（同3戸増）となった。

持家は、3か月連続で前年を上回った。貸家は、秋田市、横手市、鹿角地域などで減少し、2か月ぶりに前年を下回った。分譲住宅は、秋田市でマンション着工（52戸）があり、2か月連続で前年を上回った。

地域別では、県央は持家、貸家、分譲住宅、給与住宅のすべてが増加し、前年を上回った。県北は持家と分譲住宅、県南は持家と貸家が各々減少し、前年を下回った。



区分	2021年3月		21年1~3月	
	前年比	21年1~3月	前年比	21年1~3月
県北	90	△10.0	152	△5.6
県央	300	31.6	603	13.6
県南	69	△23.3	168	△8.2
合計	459	9.8	923	5.5

資料：秋田県建築住宅課

## 個人消費

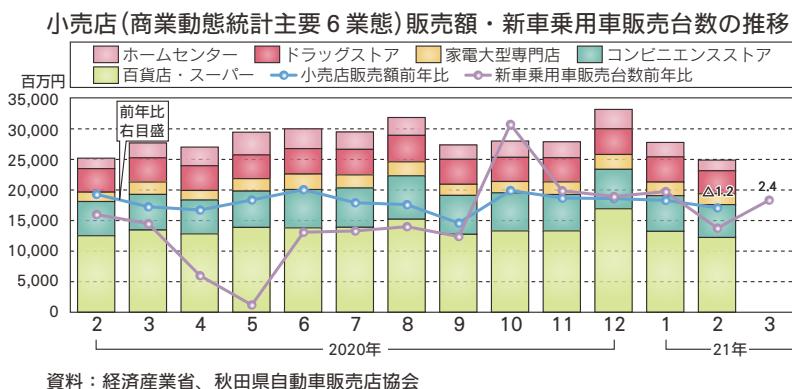
### 全体として弱いながらも持ち直しの動き

2月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比1.2%減となり、5か月ぶりに前年を下回った。

内訳をみると、家電大型専門店（同16.5%増）、ホームセンター（同1.9%増）で増加したものの、コンビニエンスストア（同4.0%減）、百貨店・スーパー（同2.3%減）、ドラッグストア（同2.3%減）で減少した。

3月の新車乗用車販売台数は、前年比2.4%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。

内訳をみると、登録車は、同0.3%減と2か月連続で前年を下回ったものの、軽乗用車は同6.1%増と2か月ぶりに前年を上回った。



3月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	5,050	2.4
登録車	2,854	△0.3
普通車	1,336	15.0
小型車	1,412	△10.8
輸入車	106	△9.4
軽乗用車	2,196	6.1

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標(前年比) (単位：%)

区分	12月	1月	2月
①消費者物価指数	△1.6	△0.9	△0.2
②勤労者名目賃金	△1.8	3.5	3.5

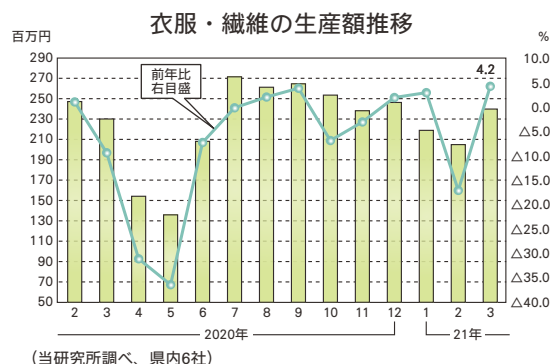
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）  
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、2か月ぶりに前年比増加

3月の生産額は、前年比4.2%増となった。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響を受け、一般衣料が大幅に減少しているものの、医療用ガウンが下支えし、2か月ぶりに前年を上回った。

受注は、新型コロナによる前年度の大幅減からの反動増を主因として前年を上回った。



雇用

有効求人倍率、前月比0.02ポイント上昇の1.33倍

3月の有効求人倍率は、前月比0.02ポイント上昇の1.33倍となった。常用の内訳では、一般は前月比0.02ポイント低下の1.24倍、パートは同0.05ポイント低下の1.30倍となった。新規求人の増加など一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から依然として改善の動きが弱まっている。

新規求人数は前年比10.8%増となり、2か月連続で前年を上回った。産業別にみると、製造業は同14.9%増となった。「電気機械器具」で減少したものの、「情報通信機械」、「木材・木製品」などで増加した。非製造

業は同10.4%増となった。「生活関連サービス、娯楽」、「宿泊、飲食サービス」で減少したものの、「情報通信」、「運輸、郵便」などで増加した。

新規求職者数は前年比10.3%増と、2か月連続で前年を上回った。

事業主都合離職者数は前年比9.5%増と、12か月連続で前年を上回った。

地域別雇用状況（パートを含む常用）をみると、新規求人数は県北、県央、県南でいずれも増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.42倍、県央が1.29倍、県南が1.09倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数（全数）

区 分		2021年2月		3月						
		前年比	前年比	前年比	前年比					
新	規 求 人 計	9,183	12.0	10,416	10.8					
製	造 業	739	10.8	910	14.9					
主	要	業	種	の	内	食 料 品	103	3.0	149	0.0
						織	144	19.0	187	0.5
						木 材 ・ 木 製 品	20	△28.6	56	75.0
						電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	147	77.1	115	59.7
						電 気 機 械 器 具	38	90.0	54	△3.6
						情 報 通 信 機 械	4	△75.0	5	150.0
						非 製 造 業	8,444	12.1	9,506	10.4
						建 設	1,076	21.6	1,288	17.2
						情 報 通 信	44	41.9	56	55.6
						運 輸 ， 郵 便	377	15.3	366	51.2
卸 売 ， 小 売	1,371	8.6	1,349	5.1						
宿 泊 ， 飲 食 サ ー ビ ス	699	△10.7	1,355	△4.6						
生 活 関 連 サ ー ビ ス ， 娯 楽	288	△11.4	322	△4.7						
医 療 ， 福 祉	1,723	△0.3	2,052	8.3						
サ ー ビ ス	1,084	27.7	1,196	20.0						
新 規 求 職 者 数	4,487	5.9	5,144	10.3						
有 効 求 職 者 数	17,380	7.0	18,693	9.3						

資料：秋田労働局職業安定課  
(注) 臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

区 分		2020年12月	2021年1月	2月	3月
有 効 求 人 倍 率	常 一 般	1.30	1.29	1.26	1.24
	パ ー ト タ イ ム	1.21	1.26	1.35	1.30
	全 数 ( 季 調 済 )	1.23	1.31	1.31	1.33
事業主都合離職者数		162	221	190	243
前 年 比		5.9	12.2	32.9	9.5

3月の地域別雇用状況（パートを含む常用）

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比	前年比	前月比	前月比
県 北	2,071	14.9	1.42	△0.03
県 央	5,138	8.4	1.29	△0.02
県 南	2,236	6.5	1.09	△0.05
合 計	9,445	9.3	1.26	△0.03

(注) 臨時・季節を除く